

## 平成26年度 実践報告書

- ◎ 平成26年度の取り組み(視察・研修・国際理解・講座等)
  - 4月
    - ・連絡協議会 P. 1
    - ・学校生活適応 P. 8
    - ・相談会
    - ・研修会
  - 5月
    - ・学校視察
    - ・巡回担当者会
  - 6月
    - ・+α研修
    - ・合同給食 P. 9
    - ・瀬戸市教育委員会 視察・情報交換
    - ・研修会 P.10
  - 7月
    - ・日本の伝統行事 セタを楽しもう
    - ・淑徳大学・名古屋国際センター視察
    - ・保護者会
    - ・進路説明会 P.11
    - ・夏期研修会
  - 8月
    - ・MIEF 実践研究会
    - ・多文化共生フォーラム in Nagoya P.12
  - 9月
    - ・日本語指導 合同給食 P.13
    - ・岐阜県教育委員会 視察・情報交換
  - 10月
    - ・就学時健診 P.14
    - ・南中ふれ愛フェスティバル
  - 11月
    - ・公開指導, 意見交換会, 情報交換会 P.15
    - ・国際理解 交流給食 P.24
    - ・国際交流 岩倉中学校 コスモス祭
    - ・研修会
  - 12月
    - ・日本語能力試験 結果 P.25
  - 2月
    - ・平成27年度 新入児 入学オリエンテーション
    - ・プレスクール P.26
    - ・ボランティアスキルアップ講座
  - 3月
    - ・情報提供会 ～外国人児童生徒の将来について～ P.27
- ◎ 個人調査票 内容改定
- ◎ マニユアルの改定 第8版
- ◎ 外国人児童生徒 追跡調査(H13~H26)
- ◎ 日本語・教科テストの改定
- ◎ 指導ユニット・モジュール P.29
- ◎ 教材新規作成・編集, 教材作成用画像の整理
- ◎ 翻訳文書新規作成・編集
- ◎ 保護者への発信
- ◎ 通訳配置
- ◎ 担当者会・研修会
- ◎ 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 指針 P.30
- ◎ 問い合わせ 平成26年度分 リスト一覧 P.31

## ◎ 平成26年度の取り組み（視察・研修・国際理解・講座等）

4月

### 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 第1回連絡協議会

平成26年4月11日

#### 1 会長あいさつ（岩倉市教育委員 教育長）

今年、適応指導教室の担当者が13名で、そのうち、5名が1年目ということなので時候を述べる。岩倉の五条川には桜が1400本あるが、そのすべてが登録してあって、桜が弱いとなるとそこへ肥料をやりに行ったりするというような形をとっている。岩倉は桜が有名だが、それだけではなく、東海美の里100選にはのんぼりあらい（鯉幟や旗を洗う）が登録されている。この時期は桜とのんぼりあらいというのがとても美しい景色で、この後は新緑がたまらないくらいによく、心の中も洗われる。ぜひ、自分が勤める地域を好きになってほしい。そして美しさをよく分かって、それを子どもに語って頂くと大変良いかなと思う。



いよいよ26年度が始まった。日本語・ポルトガル語適応指導教室も室長のもとで活動していく訳であるが、適応指導教室のそもそもの目的は、外国籍の児童生徒が学校生活に慣れるということである。十数年前は、岩倉に限らず、外国籍の子が入ってきて、受け入れる方も何もわからないまま、担任に頼むとすることでやってきた。学級で任されたけど、その子の対応におわれてしまうと他の子が見れないし、他の子を見ながらその子を見てみると、その子が一日とか二日とかわからないままやっていた。

もし、我々が外国に行ってホストにお世話になる時は、10日ぐらいたらうからいいが、我々であっても机に向かってわからない言葉を1週間聞くのは耐えられないだろう。そのようにならないように、外国籍の子たちが少しでも学校生活に慣れるという形で始まった制度が日本語・ポルトガル語適応指導教室である。

本年度は190名を13名で担当する。この適応教室は平成13年、村瀬室長が20数名の子どもたちに初めて対応したことからはじまった。当時は全くわからない状態で、でも、室長が、一人で試行錯誤しながら継続した指導のもとで、今日のように日本一愛のある指導と言われるぐらいの指導体制が確立されてきた。全国的にも大変注目されていて、たくさんの方が毎年訪問される。きちんとした指導体制だが、また新たに5名の方が入ったり、2年目3年目の人が多くなったりしてくると、再度確認しながら指導をしていくことが大切であるのかと思う。とりわけ大事なことは、小中ですべての学校で同じ指導ができるということだ。指導体制のノウハウはあるが、どうしても経験が少なくなるとこうした方がいいんだよというような少し微妙な指導が学校で違ってくるというような事になってくる。そうすると困ったことになってくるので、できるだけ最初の方は連携をとりながら指導体制がきちんとなるように作っていく。そのもとで、未就学がない、不登校がないという形にしてもらえると、子どもたちは学校に慣れ、学校が好きになり、地域に慣れ、やがてはよき岩倉市民となっていくと思うので、お力を貸してほしいと思う。

最後に、本日、午前中に校長会があり、校長先生方をお願いをした。先生方13名で新しい方が5名、ベテランで経験豊富な室長は14年目だがそれ以外はだいたい2、3年目で不安なことがたくさんあると思う。したがって、ぜひ学校体制でバックアップをしてくださいとお願いした。おそらく校長先生を中心に、学校の先生方がみなさんに声をかけると思うので、みなさんの方でも是非、学校に早く慣れようという部分と、自分の仕事もあるが、学校全体の流れを知って子どもの指導をして頂くとより幅広くなると思うので、そういうことに気をつけながら学校に慣れることも忘れないようにして頂きたいと思う。

## 2 自己紹介

### ○ 教育委員会 部長

子どもが日本語を話せるようにご指導して頂いてるが、行政としては、税金とか水道とかの徴収で保護者の方に対応している。しかし、それらを滞納されている方の家にお伺いすると日本語が全く話せなくて、お子さんが出てきて通訳をしてくれる。地域の人と関わるということで、子どもはもちろん学校で関わっているが、保護者の方も子どもさんから日本語を学んだり、影響を受けたりと言うことで地域と関わっていくということで、行政としてもこういった活動は重要だと思う。予算をつけるのは私どもなので、そういったことで必要だということがあれば予算も確保していきたいと思う。



### ○ 教育委員会 課長

教育委員会としても、日本一愛のある適応指導教室を支援していきたい。



### ○ 教育委員会 管理指導主事

### ○ 曾野小学校 校長 岩倉市校長会長・事務局校校長

岩倉市の日本語ポルトガル語教室は充実していると感じた。本日、校長会から帰ると、机の上に配布物のポルトガル語版、スペイン語版、英語版と翻訳されたものがおいてあった。配布物が翻訳をされて、他の子と同じように日にちが遅れないように準備をして行き渡る。そのようなことを担任の先生や我々がわかって、連携をとりながらすることが大事だと思った。去年一年間見ている、室長を中心に、若い日本語担当者がチームワークよくやっている。また、担当者が気持ちよく挨拶ができるということから、担当者への指導ができていると感じた。



### ○ 小学校センター校校長 岩倉東小 校長

学校としては、学校生活適応指導教室を備え持っている。主任を中心に進めているが、3名が新卒なので指導をお願いしたい。



### ○ 中学校センター校校長 南部中 校長

いいメンバーに恵まれて幸せ。

### ○ 担当者在籍校 岩倉中 校長

日本語担当者が2名に増えたが、県の校長会の資料によると、県全体で担当者が30数名増えている。日本の社会が移民政策も含めて多文化共生社会になっていかなければならないということの一環かと思っている。去年、生徒の中に日本語指導がない日に学校が来ないという生徒がいたことから、いかに日本語指導が大事かと痛感している。



### ○ 担当者在籍校 岩倉南小 校長

担当者が15名に増えている。担当者の結束力を維持しながらの活躍を期待している。



### ○ 担当者在籍校 五条川小 校長

日本語担当者のメンバーを見ると外国生活経験者が多いが、外国に行って自分がそういう身におかれると、言葉がわからな

い状況が厳しいということを実感する。日本に来ている子どもたちも、最初はつらいと思う。したがって、愛があるというのは大事なので、愛情を込めて接してほしい。

○ 担当者巡回校 岩倉北小 校長

以前、岩倉東小学校に勤務しているときは外国人の数が多く、どこにいても目がとまった。しかし、北小学校では探さないと外国人はいない。それぞれの学校によって、対応の仕方や子どもたちの意識が違ってくる。そのように、いろいろなタイプの学校がある中で、同じように指導をしてもらってありがたい。離任式で岩倉東小学校に行ったとき、1年生がおとなしく、一生懸命、話を聞いてくれたのは、プレススクールをやったおかげだと思った。



○ 曾野小学校 教務主任

担当者のおかげで、子どもたちが学級の中でも楽しく生活している。特に特別支援学級で日本語指導を受けている子がメキメキ成長していることがよくわかる。担任の先生方と担当者のつながりができるようにがんばっていく。



○ 岩倉北小学校 教務主任

北小学校も少ないながら、外国人児童数が増えている。子どもだけではなく、文書関係の翻訳といった保護者の対応でもお世話になっている。かゆいところに手が届くケアをしてもらっている。



○ 岩倉南小学校 教務主任

新卒から3年目でブラジル国籍の子を担当したがコミュニケーションがとれなかったので、こういうシステムのがあれば良かったと思っている。



○ 五条川小学校 教務主任

外国籍や日本語を話せない子は多くはないが、その子たちも気持ちよく学級の中ですごくしていけるために配慮して頂いて感謝している。1年生に全く日本語が話せない子がいる。就学時健診の時に話せなくてどうやって行こうかと思っていたが、プレススクールに行き、片言でも話せるようになりホッとした。



○ 岩倉中学校 教務主任

本校でもお世話になってる。心配り心配りを子どもたちにしてもらっていて、子どもたち一人一人が打ち解けて担当者を頼っている。子どもたちを温かく見守っていられていることが、とてもいいことだと思っている。



○ 南部中学校 教務主任

中学生は多感な時期で、日本人も外国人も関係なく進路を考えなくては行けない。普段の生活から進路まで、日本語の先生に間に入ってお世話をしてもらっている。一番最後まで残っているのが日本語の先生なので、体調を崩さないように一年間を通してがんばってほしい。



○ センター校養護教諭 南部中

翻訳文書でも、保健室での子ども対応でも、本当にお世話になっている。担当者が職員室にいないと不安感が変わってくる。



○ センター校養護教諭 岩倉東小

いつも日本語の先生方に頼っていて、特に年度初めの保険関係の文書で本当に助けてもらっている。健康診断が終わるまでは提出物のことなどで迷惑をかける。



○ 新規採用者拠点校指導員

岩倉中学校で、日本語指導の新任教員指導としてつくことになった。初めてのことでわからなかったのですが、まずホームページを開いてみたところ、すさまじいコンテンツがあったことから、実態がわかったような気がした。日本一と言われるのも、なるほどなとうなずける体制になっていると思った。20年程前、犬山の中学校でブラジルの子を預かった。その頃は助けてくれる人もなかったので、国語が専門であれば何とかなるだろうとクラスの中に入ってきた。ポルトガル語の辞書を求めて、時間割表、日課表、自己紹介表、一人一人の名札も全部手書きで作った。学級の生徒にボンジアという挨拶で始めるんだよと言ったが、子どもたちが慣れる前に、外国人の子がおはようございますに慣れてくれた。しかし、文化の違いで、ある日突然学校に来なくなった。事情が全くわからなくて心配していたら、学期の途中で15歳になったので、その年齢に達したら学校に来なくてもいいと親が言って学校に来なくなってしまった。今日は勉強させていただきたいと思って来た。



○ 室長（事務局）曾野小在籍【14年目】

日本語担当になって14年目になった。他の担当者が長くても4年ぐらいで変わっているため、がんばって継続している。歴史を見てくると、4期目ぐらいのサイクルに入っている気がする。右肩上がりで児童生徒数も担当者数も増えていて内容も充実してきたが、指導力は経験値や教師としての人間力や教育力で決まってくるものなので、1～3年目の担当者では不足している部分がたくさんある。そのような所を、いろいろな先生方に助けて頂きながら来たことにありがたいと思っている。今後のことを考えた時に、この取り組みを続けていくためには後進を育てていかなければならないと思っている。従って、今年度の各学校での挨拶では、主任がするという形をとらせてもらった。部会では、担当者の適材適所で進めていく。認めてもらうことで成長していくと思うので、協力をお願いしたい。

○ 主任（小学校代表）岩倉東小在籍【2年目】

先日、各校の挨拶周りに行ったときに、日本語・ポルトガル語適応指導教室の担当者を温かく迎えて頂いた。校長先生方はじめ担任の先生方に「うちの外国人児童生徒をよろしくね」、「日本語担当を全面的に協力させてもらうからね」というような、温かく心強い言葉をもらった。昨年度以上にがんばっていかねばと決意をした。外国人児童生徒が学級の中で、素敵な笑顔で授業の中で活躍できるよう日本語指導や教科指導にあたっていきたい。子どもたちが悩んだりしたときに、心の居場所となれるよう15名のスタッフとがんばって行きたいと思っている。



○ 副主任（中学校代表）南部中在籍【2年目】

よりよいチームとなるよう力をつくす。

○ 南部中在籍【2年目】

昨年度は1年目でいろいろな先生に支えて頂いた。今年は2年目となったので、担任の先生と協力して、子どもたちに返して行きたい。

○ 南部中在籍【1年目】

今年、初めて学校教育現場に入った。先生方に助けられて、やっている状態。1年後に胸を張って1年間がんばったと言えるようにしたい。

○ 岩倉中在籍【2年目】

本年度は初任者として、様々な先生のお力を借りて成長していきたい。

○ 岩倉中在籍【3年目】

本年度は二人体制となったので、今まで以上に岩中の先生と連携もとりつつ、日本語チームのスタッフとも連携をとりながら、一層岩倉市の子どもたちが笑顔で、毎日過ごしていけるように支援をしていきたい。

○ 五条川小在籍【1年目】※小牧市で日本語担当経験あり

初期指導が必要な児童が五条川小学校にいるが、初期指導には行かないのでクラス

での居場所ができるようがんばっていく。

○ 岩倉南小在籍【2年目】

本年度、一人で責任校になった。

○ 岩倉東小在籍【1年目】

1年目でまだまだ勉強中であるが、早くよりよい指導をしていきたい。

○ 岩倉東小在籍【1年目】

1年目で至らない点はあるが、がんばる。

※ 海外生活経験者－6名、日本語教育専攻者－6名  
(ブラジル人講師)

○ ポルトガル語 南部中学校在籍【3年目】

○ 学校生活適応指導 東小学校在籍【4年目】



### 3 日本語・ポルトガル語適応指導教室より

#### (1) 諸連絡および配布物

① 平成26年度連絡協議会組織図

昨年度より、市内7校すべての校長先生に連絡協議会に入っている。

② 日本語・ポルトガル語適応指導教室のあゆみ

平成13年より本年度に至るまで、児童生徒数は年々増加している。今年度4月現在では、昨年より11名増えて190名となった。担当者は過去最高の15名。増加の原因は、愛知県の景気が良くなり外国人労働者が増加したことだと考えている。

③ 在籍状況

4月7日現在では190名になっているが、転校生が曾野小に予定されているので191名となる。

④ 日本語・教科 ステップ・学年別指導表

個々の児童生徒の習熟度に合わせて設定している学習区分。昨年度から、モジュールを導入し、ステップの指導内容と現学年の指導内容を合わせて指導をしていく。

⑤ 年間予定表

学校行事等で不都合なことがあるときは連絡がほしい。

⑥ 巡回担当者会 (案)

情報交換会についての案。事務局で週に1回担当者会をしている。その担当者会を各学校で行いたい。各学校の担任の先生と交流を深めるのが目的である。外国人児童生徒の情報を交換しながら、今後の指導に生かしていきたい。変更点：北小学校27日(火)。

⑦ 保護者会通訳配置 予定表

1学期の保護者会の日程が重なっているため、各学校への複数の通訳配置がとても難しい。やりくりはするが限界がある。一日入学や入学説明会の予定も、通訳の関係上重ならないように配慮していただくと嬉しい。また、通訳の勤務時間の都合上、16時までには面談を終えてほしい。ブラジル人講師に事故があった場合は16時までしか保険が効かない。

⑧ 平成25年度 外国人児童生徒 進学・就職先

多くの外国人生徒が進学した。卒業時点では進路先が決まらなかった一名も、現在は派遣会社を介して仕事を見つけることができた。

⑨ 個人調査票・正式名一覧・追跡調査 (各校配付済み)

緊急時の連絡先や要録の入力の際に役立ててほしい。

⑩ 岩倉市 市内7校 年間行事予定表 (メールで配布済み)

⑪ 平成25年度 実践報告書 (昨年度、第2回連絡協議会で配布済み)

本年度より連絡協議会メンバーになった先生のみ配布した。

⑫ 今年度の取り組み

- ・ 「特別の教育課程」による日本語指導

指導要録の記入の仕方については、1年間の指導の中でどのようなことが伸

びたかを日本語スタッフでまとめ、担任の先生に伝える。その後、担任の先生で記載して頂くことを考えている。

※ 異学年への在籍について文部科学省への確認事項  
(岩倉中 校長)

一時的にまたは正式に他学年への入学を認める取り扱いすることが可能であるとは、外国籍児童生徒が当該年齢の学年に入ってもその教育課程がわからないという時に他学年の授業を受けることができるということである。しかし、一時的に他学年の授業を受けるとい場合に他学年に籍まで移してしまうと、当該学年に戻すときには飛び級と言うことになってしまう。日本の教育制度の中では飛び級は外国籍児童生徒であってもあり得ないので、一度本当に籍を他学年に落としてしまうと、そこから順番に一年ごとに積み上げていかなければならない。つまり、一時的に他学年への入学を取り扱うことが可能であるとは、書類上、籍は当該学年に置き、授業は一時的に下の学年で受けているということになる。指導要録で考えると、もし飛び級をしてしまうと飛んだ学年の指導の記録が空白になってしまう。それはあり得ないと日本の法律ではなっている。



他学年への入学の申し出があって籍まで動かすということがあるときは、中学校を卒業する15歳を超えているため、もし不登校になってしまったら中学校の卒業資格が手に入らないことになるということの説明しなければならない。

一番難しいのは、6年生から中学校に入学する際である。同じ学校内であれば、当該学年に籍を置いて授業は他学年で受けることができるが、中学校に入学してしまったら小学校の授業を受けることはできない。その場合は、籍を他学年に置くことが起こり得るかもしれない。

(日本語担当 室長)

「一時的」の扱いを間違いをしないようにする必要がある。始めの受け入れの時に保護者から申し出があった場合は、加年齢のメリットデメリットを親にきちんと説明をしていかなければならない。岩倉の場合は日本語指導をしっかりしているので、学年を落とす必要はなく、取り出し指導で補充していけると考えている。

⑬ 巡回指導について

- ・ 外国人児童生徒の増減や日本語能力に応じて、臨機応変に変更。
- ・ 各校の授業参観や学校訪問の日も通常の時間割通り指導を行う。もし、各校の巡回指導がなくなるときは連絡をほしい。巡回指導という形式上、各校、曜日変更などへの対応はできない。

⑭ 学校生活適応指導 (集中初期指導)

- ・ 受け入れ時に、該当するかどうか随時相談。集中的な初期指導を行い、最低限の日本語を覚えることが目的。1時間目から4時間目まで適応指導を行い、期間は4週間を目処としている。登下校は保護者がつきそうことが原則となっている。本年度は1年生4名、編入生1名の5名でスタートした。

⑮ マニュアル (校長先生・教頭先生、教務主任、養護教諭向け)

- ・ 在籍校での役割
- ・ 指導要録の書き方
- ・ 担任向けQ&A ハンドブック

⑯ プレスクール プレスクールを体験した児童が入学。個々の実態に合わせて、通常学級からスタートした児童、学校適応指導からスタートした児童がいる。昨年度に比べ、生徒に落ち着きがあり、学校生活を少し体験することにより安心感が生まれ、楽しくスタートできた。プレスクールではたくさんの先生方にお世話になった。

- ・ 課題－保護者の送迎 保護者に送迎してもらえるような働きかけが必要。

⑰ 進路説明会

- ・ 昨年度9月実施 → 今年度7月実施 夏休みに実施する予定。

平成26年度のスローガン 「謙虚な姿勢，感謝の気持ち」

## (2) その他

### ① 書類関係

- ・ 受入れ手続－各校，教務主任，学年で対応。
- ・ 翻訳文書－ホームページに掲載（担任へ連絡）  
保健関係の翻訳文書はシーフォースのフォルダーに入れて，養護教諭に活用してもらう。
- ・ 日本語教育が必要な外国人児童生徒 報告－原則，各学校から提出

### ② 公開指導，意見交換会 － 南部中学校で実施 11月

### ③ ブラジル人講師勤務

- ・ 勤務時間（8:30～16:00）を超過する場合は，室長まで。

### ④ 日本語能力試験－7月，12月

### ⑤ 第2回連絡協議会 平成27年2月18日（水）

## ○ 意見交換，質疑・応答

- ・ 11月に南中。時間は午前か。  
→午前。午後も残りたい人がいる。午後は日本語担当の先生が情報交換のために残る。

## ○ ご指導（藤田管理指導主事）

日本語担当が県から13名，市から2名で15名に増えた。2人増えて県が力を入れている一つという流れ。外国籍の子も，将来的に日本を支えてくれる人として，日本人外国人の垣根を越えて指導に当たってほしい。

日本語の先生が新しい人が多いという話があったが，一人一人を見ていくと，他地区で日本語指導をされていたり，海外で教えていらっしたりという経験がある。毎年，新しい風が入ってくるので，新しいアイディアで盛り上げてほしい。

本年度は，一つ一つの取り組みの向上と，2月の連絡協議会で話し合われた保護者が学校をどのように捕らえているのか，どのような思いを持っているのかを知ってほしい。

今年度，取り組んでほしいことは，各校で日本語の先生の取り組みを普通学級の先生も知ることである。以前，南小学校の日本語担当者が担任の先生方を対象にしたプレゼンをやられて，初めて担任の先生方が日本語の先生がどのようなことをしているのか知ったということを知った。そのように，普通学級の担任の先生と交流をしてほしい。

少し前までは，室長が一人でやっていると感じていた。当時も担当者は室長だけではなかったけれど，講師や臨任が多かったから，室長が指示を出してやっていると思ったのかもしれない。今は，一人一人の先生がアイディアを出して，一人一人の先生が，一つの取り組みを責任を持って受け持っていて，中心となって運営している。本日も，主任が中心で司会を進めていたし，担当が変わるとその人が変わって説明したり，そのように任されると仕事も楽しくなる。仕事を任されると，気持ちが前向きになって，より楽しいと思うので，そのような運営をしていただければと思う。

その運営が良い方向に働いていると思うのが，担当者会の記録にあるように，組織をきちんと作っていることである。学習部会・相談部会，小学校部会・中学校部会というように，それぞれ2部会に分かれてチームを構成している，そういう雰囲気をもって，自覚をもってアイディアを出していけば，新しい風を持った熟成された指導となるだろう。



4月～

## 学校生活適応指導 岩倉市立岩倉東小学校



4月

### 相談会

- 日時 4月17日 岩倉市立南部中学校  
4月21日 岩倉市立岩倉東小学校
- 内容 ① 日本の学校について  
② 日本語・ポルトガル語適応指導教室について  
③ 日本語能力試験や中学校卒業後について



4月～

### 研修会 毎週 水曜日 事務局(曾野小)を中心に

5月

### 学校視察

- 日時 5月26日(月) 2・3時間目
- 会場 岩倉東小学校 (センター校)
- 参観者 宮田小学校 日本語担当者
- 視察内容



- (1) 2時間目 日本語指導参観 (2) 3時間目 意見交換, 質疑等

5月

### 各校での巡回担当者会

通常、事務局で行っている担当者会を市内7校の学校へ日本語担当者とブラジル人講師が出向いて行く。

各校の連絡協議会メンバー(校長先生, 教務主任, 養護教諭)や担任の先生方との意見交換をし, 多方面の意見を今後の活動に取り入れていくことを目的に5月から6月にかけて実施。

#### 5/13 日本語適応指導教室担当者会

本日、日本語適応指導教室担当者会が本校で行われました。  
岩倉市は日本語指導を必要とする外国籍等の児童生徒が多く在籍するため、日本語適応指導担当教員が多く配属されています。

担当者は、外国籍児童生徒の日本語指導のみならず、在籍の問題や日本の学校への適応指導、通訳や翻訳文等保護者への対応など、幅広く支援活動を行っています。

そのため、各校担当者の横の連携・協力が大切です。担当者会では、全体の課題や個々のケーススタディ、教材の開発や指導技術の向上など、様々なことが話題となります。

言葉の違いや文化の違いを乗り越えて学習環境を整えることによって、ともに国際理解を深めるチャンスにできるとよいと思います。

日本語適応指導教室に関する詳しい情報は以下をご覧ください。  
<http://www.iwakura.ed.jp/nhongo/frame.htm>



6月～

### + α 研修

- 日時 水曜日 16:30～17:00
- 会場 日本語教室
- 参加 誰でも自由参加
- 研修内容 (一例)

- 日本語および教材サイト集の紹介
- 小学校で習う部首ベスト9
- ブルガリア日本語教育事情
- 異文化体験 in BORNEO
- 日本語とスペイン語
- オーストラリアと日本



- 教材ダウンロードの仕方
- バイリンガル
- ブラジルの日本語教育
- おらんだより
- 詩の授業

# 6月

## 合同給食 五条川小学校



日本語指導 合同給食



ふだん日本語適応指導教室で学んでいる子どもを中心に、合同給食会を行いました。互いのことを知り、交流し、コミュニケーションを図る機会として、今後も定期的に行っていこうと考えています。

毎月、第2・第4木曜日に『外国にルーツをもつ子どもたち』が日本語教室に集まり、給食を食べる。

机を口の字に囲み、自己紹介や好きなものを順に話した。

トレーに給食を載せて恐る恐る階段を下りてくる子ども。1年生の給食を運んでくれる高学年の子ども。日本語教室がにぎやかな部屋に変わった。帰り際に、「また、次も来るね。」と言いながら在籍学級に戻っていった。

# 6月

## 瀬戸市教育委員会 視察・情報交換

- 1 日時 6月12日(木) 14:00～
- 2 会場 事務局および岩倉東小学校（センター校）
- 3 参観者 瀬戸市教育委員会 指導主事  
瀬戸市日本語初期指導教室開設準備室長

### 4 情報交換の内容

- プレスクールの概要について
- 指導者について（雇用方法、募集方法、謝礼など）
- 教育委員会との具体的な連携内容について
- 指導内容について（独自教材・市販教材の活用、指導の工夫）
- その他
  - ・ プレスクールに参加しない児童への対応について
  - ・ 年度途中に入学した日本語が不自由な児童への対応について

### 5 視察を終えて（一部抜粋）

様々な情報は耳にしていたのですが、実際にお話をお聞きし、教材などを見せていただくことにより、瀬戸市の初期指導教室開設に向け、イメージをふくらませることができました。

また、若手の指導者の育成も進められており、元気の良い生き生きとした姿を見ることができ、継続した取組の成果を感じることができました。このあたりも、瀬戸市も見習うべきことであると感じました。



# 6月

## 研修会 『岩南中 生徒指導主事時代のあるできごと』

- 1 日時 平成26年6月4日(水)
- 2 講師 小森節男先生  
前岩倉東小学校, 岩倉北小学校校長  
前岩倉市教育委員会管理指導主事



### 3 学んだこと

教師として、生徒に対する接し方や問題が起きた場合の対応、職員間の連携の大切さとともに、安定している今こそ、より一層、学校や地域の安定に力を注ぐべきことをかつての事例から得た教訓をもとに教えていただきました。

### 4 担当者の感想 (一部)

今の南中があること、そして今の南中にいて日本語指導、生徒の支援・指導にあたることができるのは、小森先生のような先生方が苦勞して「今の南中を創ってくれたからだ」ということを強く感じました。

また、岩倉市の日本語ポルトガル語適応指導教室が、このように恵まれた環境下にあるのも、多くの方々の理解と支援、協力があってこそなのだという事も改めて痛感しました。

「壊れるのは一瞬」という言葉を肝に銘じ、今の恵まれた環境に感謝しつつ、よりよい環境が築いていけるよう、人との関わりを大切に、情熱をもって子どもたちに向かっていきたいと思いました。



# 7月

## 日本の伝統行事 七夕を楽しもう!

- 1 日時 平成26年 7月7日(月) 給食の時間
- 2 場所 五条川小学校 日本語教室
- 2 目的

日本の伝統行事の一つである七夕を通じて、短冊に願い事を書く楽しみ、飾る楽しみを味わうとともに七夕の話を紹介し、伝統菓子を味わわせる。

### 3 内容

- ① 七夕の紙芝居を見る。
- ② 友だちに願い事を紹介する。
- ③ 七夕の伝統菓子索餅を味わう。



# 7月

## 淑徳大学准教授・名古屋国際センター

## 視察



# 7月

## 保護者会

教室での保護者会終了後に、日本語教室で、日本語習得状況や教科内容の理解度を通訳を付けながら保護者へ伝えるとともに保護者とのコミュニケーションを深める場とした。



# 7月

## 進路説明会

外国人生徒とその保護者が日本の教育制度と受験制度の正しい知識を得、よりよい進路選択をするための情報を提供するとともに、具体的な進路相談の場とする。



- 1 日 時 平成26年7月15日 (火) 19:00~20:00  
 2 会 場 南部中学校 2F 図書室  
 3 プログラム  
 (1) 受付  
 (2) 進路説明  
 ① 日本の教育制度について  
 ② 上級学校の種類について  
 ③ 受験制度について  
 ④ 入学までの流れ  
 ⑤ 授業料などについて  
 ※ 補助金制度, 奨学金制度の紹介  
 (3) 卒業生からのメッセージ  
 (4) 個別進路相談



# 7月

## 夏期研修会

- |            |        |       |      |     |        |
|------------|--------|-------|------|-----|--------|
| ・ 7月24日(木) | 9:00~  | 理 科   | 社本先生 | 会場一 | 曾野小学校  |
| ・ 7月24日(木) | 14:00~ | 社 会   | 高橋先生 | 会場一 | 南部中学校  |
| ・ 7月28日(月) | 9:00~  | 国 語   | 渡辺先生 | 会場一 | 岩倉北小学校 |
| ・ 7月29日(火) | 9:00~  | L D教室 | 石原先生 | 会場一 | 曾野小学校  |
| ・ 7月29日(火) | 14:00~ | 算数・数学 | 木村先生 | 会場一 | 岩倉中学校  |



# 8月

## 2014 MIEF 第2回 実践研究会

平成26年8月5日 (火)  
 三重県国際交流財団

- 1 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取り組み
- 2 年間計画
- 3 あゆみより
- 4 担当者会要項より
- 5 帰国・外国人児童生徒について
- 6 日系人のルーツを探る
- 7 ブラジルの文化・教育事情
- 8 日本語指導



- ・ 日本語指導において配慮すべき事項・心構え
  - ・ 指導ユニット・モジュール
  - ・ 日本語・教科テスト（評価，課題，テキスト）
  - ・ 日本語能力に応じた日本語指導法・具体的指導例
- 9 外国人児童生徒への対応
- ・ 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 マニュアルより
- 講座で参考になった点（アンケート結果より抜粋）
- ・ 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の実践
  - ・ 他県の様々な取り組みとシステムを聞くことができた。何より市全体で一つの方向に向かおうとする熱意が伝わってきました。
  - ・ 三重県でない他県他市の取り組みがよく分かった。教育課程内で母語指導を試みえることもびっくりしました。先生が長年苦勞してきて築かれた積み上げで今があるんだなと思いました。やっぱり市にはコーディネーター役がいります。
  - ・ 年間行事設定，時間や場所も参考になった
  - ・ 岩倉市で使っている教材・資料の展示
  - ・ 考え方にも教材の作り方にもとてもオリジナリティを感じた。母語の扱い方等とても説得力があった。私が外国人の子どもなら，この先生に習いたいと思った。
  - ・ 渡日の歴史
  - ・ 教材研究の大切さ，コーディネート力の大切さ
  - ・ 指導例や教え方の色々な点で参考になりました。
  - ・ 教材（手作り）を自分でつくるということ
  - ・ 色々な教材を教えてもらえた。パソコンからの取り出し方，作り方をもう少しゆっくり教えて頂けたらと思いました。
  - ・ 教材活用や子ども，保護者対応などとても参考になりました。
  - ・ 詳しい教材の紹介があり，実践につながられそうなのでありがたいです。
  - ・ 教材の作り方
  - ・ 実践的な教え方の方法
  - ・ 指導要領の使い方
  - ・ 特別支援との連携
  - ・ 日本語教材サイト，日本語指導について
  - ・ いろいろな教材を紹介して頂けて良かったです
  - ・ 漢字指導のアイデア
  - ・ モジュール型の授業について
  - ・ 個人別課題一覧表
  - ・ 教材指導と日本語指導の平行進行について考えさせられました。ありがとうございました。
  - ・ 日本語レベルに合わせてどのように教科指導を進めれば良いかよく分かりました。定住化前提で進路を念頭において信念をもって指導を進めようと思いました。



## 多文化共生フォーラムin Nagoya

平成26年8月24日・25日

名古屋国際センター トヨタ財団主催



# 9月

## 日本語指導 合同給食



ふだん日本語指導を受けている子ども達が集まり、給食をいっしょに食べました。名付けて「おつきみきゅうしよく」。すすきや月見団子を飾り、雰囲気も出ています。みんなでいろいろな話をしながら、楽しく給食をいただきました。

- 子どもたちにとって、すすきや団子を飾ったり、食べたりすることは初めての経験であった。月の模様の話も興味をもって聞いてくれた。夜、外に出て月をじっくり観察したことはない子どもたちばかりで、本当にうさぎが餅つきをしているように見えるか半信半疑だったが、「夜が待ち遠しい。」と言っていた。
- お月見給食を実施するにあたって、子どもたちに役割を

分担した。机を並べる係、机を拭く係、すすきや団子を並べる係、低学年の児童の給食を持ってくる係などで、みんなてきぱきと行動していた。

- 「団子おいしい」「自分の国の月の模様が見たい」「今度はどんな給食やるの」など多くの会話が飛び交った。
- この場では子どもたちは、本当の自分を出している。子どもたちからのつぶやきをひろったり、友達関係や様子を観察したりしながら進めていきたいと思う。楽しい食事の場、コミュニケーションの場になってくれることを望んでいる。

# 9月

## 岐阜県教育委員会 視察・情報交換

- 日時 9月12日(金) 9:30～
- 会場 岩倉市立曾野小学校 (事務局)  
岩倉市立南部中学校 (中学校センター校)  
岩倉市立岩倉東小学校 (小学校センター校)
- 参観者 岐阜県教育委員会 学校支援課  
課長 教育主管  
係長 課長補佐



### 4 視察・情報交換の内容

(1) 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の取り組み

(2) 日本語教室 視察

- 岩倉市立曾野小学校
- 岩倉市立南部中学校
- 岩倉市立岩倉東小学校

(3) 質疑・応答

- 「特別の教育課程」による日本語指導の実際
- 指導者の資格、教員免許等の有無
- 指導計画の実際
- 学習言語習得のための指導で配慮すべきこと
- 教材の工夫
- 来日時期、来日年数に応じた日本語指導について
- カリキュラム構築について



- ・ 日本語指導ユニット作成の過程とその改善について
- ・ 進路指導について
- ・ 岩倉市における外国人児童生徒の高等学校への進学、就業状況とその課題



### ＜視察を終えて＞

市ぐるみで外国人児童生徒教育の充実に取り組む仕組ができあがっていること、個別に対応できる指導計画が整備されていること等の説明を聞き、14年間の歩みの重さを感じた。村瀬室長の「日本一愛のある『適応指導教室』」という言葉通り、児童生徒の意欲を引き出し、力を付け、将来につながる指導は、一人一人の自立を願う強い思いに満ちていた。

参観した適応指導教室では、工夫ある教材を用いて個に応じた指導がされていた。指導にあたる先生方の無駄のない指示や動き、できた喜びやつまずきを素直に表現できる児童生徒の姿からは、日頃の信頼関係がうかがえた。

資料として提供していただいた体系的な指導カリキュラム、評価指標等は、今後の岐阜県での事業に大いに参考になるものである。これらを参考にさせていただきながら県内の集住地域の小中学校での実践を交流するとともに、有識者や実践家の指導を仰ぎながら整理し発信することで、県内の外国人児童生徒教育の充実に向けて取り組んでいく。

## 10月 就学時健診 市内小学校

保護者には、別室で小学校入学に向けての準備や小学校のオリエンテーションを行う。

外国人幼児には、簡易日本語テストを実施し、個々の日本語力を把握するとともにプレスクール参加対象者をリストアップする。



## 10月 南中ふれ愛フェスティバル

第1部「発表：世界のおもしろ言葉&世界のおもしろCM」

第2部「展示：世界の色々な国々」





岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 公開指導  
南部中学校 平成26年11月5日 (水)

公開指導参加者 63名+15名(日本語担当者・ブラジル人講師) 計78名  
 意見交換会参加者 45名+15名(日本語担当者・ブラジル人講師) 計60名  
 情報交換会参加(午後) 28名+15名(日本語担当者) 計43名  
 市内参加者 32名 (公開指導のみ参加 12名, 公開指導・意見交換会参加 20名)  
 市外参加者 40名 (公開指導のみ参加 6名, 公開指導・意見交換会参加 25名, 情報交換会のみ参加 9名)

◎ 公開指導 2時間目 9:45~10:35 ○ 指導教室及び指導内容等

指導内容	ポルトガル語指導	日本語初級指導	日本語中級指導	日本語上級指導
指導教室	視聴覚室	日本語指導教室	日本語指導教室	視聴覚室
外国人生徒の状況及びねらい	日本に長く住んでいる生徒は母語であるポルトガル語を忘れてしまい、親とのコミュニケーションがとれなくなったり、帰国したときに不自由したりする。そこで、母語を保持するとともに、ブラジルの教育を取り入れて指導している。	日本語が十分身に付いていない生徒に対して、読む・話す・書くの指導を行い、日本で生活していくために必要な知識や技能を身に付けさせている。 また、教科の基礎的内容を補い、在籍学級でも活躍できるように、指導を行っている。	日本語での日常会話に支障はないが、教室での学習についていけない生徒に対して、教科の基礎的内容を補う指導を行っている。 また、自信をもって意欲的に授業に参加できるよう、個々のレベルに合わせた指導を心がけている。	日本語の能力が高く、教室での授業内容も理解できる生徒に対して、より高い目標を設定し、意欲をもたせるために指導を行っている。 それぞれの進路に合わせて、面接や作文での自己表現の仕方、場面に応じた言葉遣いを指導している。
指導者	ブラジル人講師	日本語担当者	日本語担当者	日本語担当者
本時に指導する外国人生徒	・ 2年生 1人 ・ 3年生 3人	・ 1年生 4人	・ 2年生 4人	・ 3年生 4人

○ ポルトガル語指導 (視聴覚室)

- 音読 「Uma menina do seu tamanho」
- 読解
  - ・ 文章の内容を読みとる。
- 文法
  - ・ ものの大きさを表す言い方
- ことばの活用
  - ・ MとNの使い方



『感想』

公立中学校で母語 (ポルトガル語) 教育を実践しているケースを初めて知り、とても興味深く思いました。日常会話には不自由しない子でも、母語とじっくり向き合う機会はなかなかないと思うので、自己形成の場としても大変意義の大きい取り組みだと感じます。また、指導者の確保も容易ではないと思いますが、うまく授業運びがされているように感じました。

○ 日本語初級指導（視聴覚室）

- 日本語
  - ・ 「～ています」の表現を正しく使えるようにする。
- 漢字
  - ・ 小学校で学習した漢字の読み方を覚え、意味を確かめる。
- 理科
  - ・ スライドや簡単な実験を通して、音が伝わるしくみを知る。



『感想』

文字，言葉を図や具体物を示しながらの指導，大変参考になりました。先生の熱心な指導，生徒の真面目な態度に，今までの指導の確かさが伝わってきました。

先行学習がいいなと思いました。他の教室も全てですが子どもが前を向いて（顔を上げて）できる授業が素晴らしいと思いました。

○ 日本語中級指導（日本語指導教室）

- 歴史的仮名遣い
  - ・ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす。
- 短歌
  - ・ 短歌を読み，情景や心情を捉える。
- 社会（地理）
  - ・ 短歌の作者に関わりのある，県名・県庁所在地・特産品を覚える。



『感想』

丁寧なご指導をされており，わかりやすい授業で，生徒たちも楽しんでいる様子が伝わってきました。生徒が必ずできること（写真を貼る）などが授業の中に組み込まれているのでモチベーションも上がっているのかなと思いました。

○ 日本語上級指導（日本語指導教室）

- 計算練習
  - ・ 数学の入試問題に取り組む。
- 社会
  - ・ 資料の読み取り方を学び，入試問題に挑戦する。
- 敬語表現
  - ・ 敬語で書かれていない文章を，改まった場での言葉遣いに直す。
- 身近な人の紹介
  - ・ 学んだ敬語表現を用いて，身近な人の紹介をする。



### 『感想』

1時間の中で入試問題から面接での敬語指導まで途切れることなく、テンポ良く進められていて感心しました。素晴らしい教材とそれらを活用して生徒の力を引き出していらっしゃる先生方の努力が素晴らしいです。

### 【全体を通して】

カリキュラム、先生の質、授業内容どれも素晴らしいと思いました。その質、レベルの高さに驚いています。言語教育は思考とか文化とかに関わるものと思っています。こうした語学教育に日本人の生徒や児童のアシストが考えられないかと思っています。ケアの世界ではピュアコンサルが考えられています。そうしたものからの発想です。

本日は、参観させて頂いて有り難うございました。とても参考になりました。日本語指導が、学校が落ち着き、地域が落ち着くことにつながっていくことを岩倉市の取り組みで実感できました。指導者として心にとめておかなければならないことを沢山教えて頂きました。ありがとうございました。

日本語指導のカリキュラム及び教材が充実していて大変参考になりました。「日本一愛のある日本語指導教室」を実感できました。今後の指導に生かしていきます。

自作教材、パソコン資料、プロジェクター教材などの豊富さに驚くとともにご苦労が伝わってきました。ホームページで公開されている資料を活用させていただいていますが、自分でも工夫して手作りしなければと思いました。大いに参考にさせていただきます。

市としての取り組みに、毎回驚かされ、感動させられます。どの学校でも同じような指導ができる・・・というのも、遠い遠い目標です。少しずつ、自分にできることに取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

“市内どこに行っても同じ指導が受けられるように”とカリキュラム等を共有されていることが素晴らしいと思いました。教材開発、教材研究等、先生方の努力に感動しました。

### ◎ 意見交換会 10:50～12:00

#### 1 教育長あいさつ

日本語・ポルトガル語適応指導教室の公開指導にたくさんの方にお出で頂き、ありがとうございました。県外では、三重県や大阪府、岐阜県など、たくさんの方にお出でいただき、心より感謝申し上げます。

現在、岩倉市内の小中学校には17カ国12言語、194名の外国籍の児童生徒が在籍し、外国籍の子どもたちは、仲良くしっかり勉強しています。これは昔からできていた訳ではありません。日本語・ポルトガル語適応指導教室ができたのが平成13年、そのころから積み上げてきて今日に至っています。

プレスクールでは、入学前の子どもたちを対象に、学校生活に馴染みやすくするための指導も行っています。

私も十数年前に、南部中学校で教頭として勤めていたのですが、その頃は大変でした。外国籍の生徒に、どのように指導していいか分からない状態で、生徒も学校生活に馴染めず、トラブルを起こすことがありました。今は、トラブルを起こすことなく、進学していく生徒も多い。最終的にどんな文化の子たちも市民として大切であるので、



学校がしっかりと受け止めて、こうした指導ができると、より良い子どもたちになると思います。どうもありがとうございました。

## 2 センター校校長（岩倉南部中学校）あいさつ

本日は公開指導ということで、大勢の方にお越し頂き、ありがとうございます。

本校の全校生徒は11月5日現在で427名おり、そのうちの1割、約40人が外国籍生徒です。そのうちの6割がブラジル国籍、あとはパキスタン、トルコ、中国など多岐に渡っています。本校全体の雰囲気として、子どもたちは落ち着いて穏やかな生活を送っています。そのなかで外国籍の生徒もしっかり溶け込んで穏やかに毎日の学校生活を送っています。

このような状況にあるのも、日本語教室のおかげであります。個に応じた指導を、実際に行うのは難しいことですが、日本語担当者は個々の能力に応じた教材づくりを熱心に行っています。外国籍の子どもたちの多く、また、親は、日本の上級学校への進学を望んでいます。通常は3年生で進路説明会がありますが、それだけに留まらず、外国籍の子どもたちや親を対象にした特別の説明会も設け、上級学校の制度などを伝えています。また、学校内の行事や部活なども、精力的に取り組めるよう、上手に背中を押してもらっています。



## 3 出席者自己紹介

(市内)

- 市議会議員，区長，民生委員・児童委員，市教育委員会管理指導主事，校長，教頭，教務主任，日本語室長，日本語指導担当，ブラジル人講師

(市外)

- 江南市教育委員会指導主事，三重県教育委員会高校教育課指導主事，安城市・名古屋市・半田市・小牧市・小牧市・豊山町・犬山市教諭，春日井市・三重県津市・大阪府日本語担当，岐阜県可児市多文化共生主幹，愛知県国際交流協会，名古屋YWCA日本語教室コーディネーター，多文化共生リソースセンター東海事務局長，東海学院大学短期大学部講師，毎日新聞記者，愛知教育大学学生

## 4 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室について

- 日本語・ポルトガル語担当について

日本語担当者13名とブラジル人講師2名の15名体制で、「日本一愛のある適応指導教室」を目指して取り組んでいる。

- 指導理念

- 1つ目ー 外国人児童生徒の適応が日本人に良い影響を与えること
- 2つ目ー 市内すべての小中学校で同じ教育をする
- 3つ目ー 外国人への偏見を少しでも学校から排除していく
- 4つ目ー 未就学・不登校児童をつくらない
- 5つ目ー 保護者とのコミュニケーションがとれるように、母語保持・ブラジルの教育を取り入れる

- 外国籍児童生徒数

岩倉市の外国籍児童生徒数は今日現在で194名で、右肩上がりに増加している。傾向として、フィリピンやトルコ、パキスタンなどのアジア系が増加しており、ブラジル、ペルー、ボリビア、パラグアイなどの南米系が減少している。

開設当初は4カ国4言語だったが、現在は17カ国12言語。開設当初はブラジルが8割を超えていたが、現在は約半数で、フィリピンが急増している。



- ・外国人向け進路説明会  
今年度は、約100名の参加者があった。4カ国語の同時通訳で行った。
- ・中学卒業後の進路  
平成13年度から、上級学校（専門学校、定時制含む）の進学が右肩上がりに増加している。
- ・岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室の特色  
拠点校方式で、兼務命令を受け他の学校へ巡回指導している。
- ・ポルトガル語指導  
児童生徒が保護者とコミュニケーションできるよう、また、外国人としての誇り、アイデンティティをもてるよう行っている。
- ・日本語能力試験  
平成16年度に開始した。平成26年7月は、21名が受験し、18名が合格した。
- ・学校生活適応指導  
平成26年度4月から、5名の児童を対象に1ヶ月間の指導を行った。現在も南部中学校の生徒1名と、曾野小学校の児童1名を指導している。
- ・プレスクール  
昨年度から開始した。児童が学校生活に慣れることを目的としている。成果として、参加した9名の児童が「小学校が楽しみだ」と言い、スムーズに入学することができた。  
幼稚園・保育園の先生方との懇談、情報交換もしている。
- ・モジュール型指導  
児童生徒の日本語能力に応じた指導と、先行学習を行う。また、レベルを4つのステップに分けている。
- ・特別の教育課程による日本語指導  
岩倉市の実態に応じた形に変えて実施している。
- ・指導形態  
取り出し指導、他校への巡回指導、センター校での学校生活適応指導。
- ・指導計画  
カリキュラムを作成している。また、現在、個の指導計画を作成中。
- ・評価  
5言語で作成し、保護者に配布している。また、課題表を作成し、次の指導に生かしている。

### ◎意見交換、質疑応答

(外国人に対しての見方)

大山寺に住んでいるが、外国人が多く、普通に生活しているところを見かける。外国人という感覚ではなく、日本人と同じという感覚で。将来のことを考えると、日本の労働人口は下がっていく。

外国人だからという目で見ると、日本の働き手がなくなる。生活ができなくなる。社会全体で外国人に対する見方・考え方を変え、受け入れていかなければいけないと思う。



- 日本語・ポルトガル語適応指導教室の普段の業務について教えてほしい。  
→ 日本語適応学級担当教員として県から加配された教員なので、通常の業務としては、自分の在籍校と、プラスもう一校を巡回し、指導を行っている。(初任者は初任研があるので在籍校のみ。)原則それ以外の業務は行わない。なるべく小・中で指導できるように組んである。
- 巡回する時間帯と巡回する学校に日本語指導をする専用の教室があるのか。  
→ 室長を除いて、週一～三日の午前中に自分の担当する巡回校に指導に行っている。また、それぞれの学校に日本語教室が設置されている。
- 教材などを見ているとポルトガル語のものが多いが、フィリピン語・スペイン

語の指導はしていないのか。

→ 市から2名ポルトガル語を話せるブラジル人講師を雇っていただいている。他の言語の子どもたちも増えてきているが、他の言語もとなると、なかなか難しい。他の言語については、懇談会や困ったとき、保護者と話すとき等に通訳を依頼している。

○ なかなか教員の理解が得られない。25年度卒業した5名のうち、1名はいじめで転校、1名は不登校で昼夜逆転の生活を送っている。岩倉市では小中の橋渡しや連携をどのように行っているか。

→ 原則、週に一度担当者が集まり情報交換をし、そこで、児童生徒が抱えている問題や頑張っている姿、保護者への対応等を話し合っている。また、日々の指導の内容や様子を各学校で記録をし、各学校の先生へ引き継ぐ。学校間で行っている小中連絡会の際に、日本語担当者として、中学校の先生方に伝えたいこと、お願いしないといけないことがあれば、中学校の先生に伝えてもらうという形を取っている。

○ 子どもも保護者も抵抗なく中学校に上がれているか。

→ 進路説明会とは別に小学生の保護者向けに情報提供会というものを行っている。そこで中学校で学習する内容や学校生活についての話、また、そのために保護者は子どもをこういう視点で見えていかななくてはいけないという話をしている。市内全部の小学校の保護者に声をかけ、通訳を介して相談を受けたり、アドバイスをしたりしている。

○ 学校生活適応指導について知りたい。急に転入が決まった場合、どのように対応しているか、誰が対応しているか。

→ 岩倉市として2名のブラジル人講師を配置してもらっているが、そのうちの1名が対応している。母語を使った初期指導という考え方で開始したが、最近は非常に多言語になってきている。適応指導担当の平野先生は日本語を上手に話せるので、他言語の児童生徒への対応も問題なくできている。適応指導対象者がいなくなった場合には、外国人が多い岩倉東小学校を中心に、必要な支援をしてもらっている。

○ 中学生について、日本語能力の判定、取り出し基準、日本語教室卒業の基準等について知りたい。

→ 評価については、HPにテストが載っている。しかし、全部実施しようとするものすごい量になってしまうので、現在は使っていない。5問テストのようなものがたくさん載せてある。それを使用し、1時間の指導の中で効率よく確かめができるようにしている。

○ 日本語指導のノウハウはどこで獲得したのか。

→ 日本語の研修については原則毎週水曜日の午後を集まって行っている。日本語教育について学んできた担当者が、研修の中で話をしたり、担任経験者が教科の指導について、こういうポイントを押さえてほしいなどの研修を行ったりして、それぞれの担当者がもっている能力をお互いに伝え合えるような研修にしている。産休に入っていたり、現在担任の経験をしていたりなど、いろんな入れ替わりがあり、今年は日本語担当になって1～3年目の担当者ばかりである。担当者の中で大きく分けて、日本語教育を専門に勉強してきた担当者、海外での生活経験がある担当者の2種類があり、お互いのいいところを出しながら研修をしている。

○ トルコの子を教えている。生活指導の仕方について知りたい。

→ 岩倉市でも常にある。こればかりは繰り返し根気よく指導していくしかないと思っている。日本で過ごす時間が長くなれば悪い意味でなく、同化していく。悪いことをしたときにはきちんと指導していかなくてはいけない。

(藤田管理指導主事より)

本日は、市内はもとより、市外、県外の方、それから多岐・多種にわたる学校関係以外の方もきてくださいました。また、昨年みえてくださった方など、何回も足を運んでくださっています方もおり、岩倉市の取組に関心を持っていただいていますことを嬉しく思っています。

岩倉市は丹葉地区に所属しています。丹葉地区では、学校訪問を行っており、他市町の指導主事に来てもらい、授業をみていただいています。同じ丹葉地区の江南市や犬山市にも外国人児童生徒が多く、授業の際に外国人児童生徒が目立っていたが、岩倉市は誰が外国人かわからないと他市町の指導主事が言っていました。

岩倉が目指している思いは、将来の日本を支えてくれる、また日本と母国とのパイプとなってくれる児童生徒をつくりたいということです。

文科省が、現状を見て、課題を3つ挙げています。1つ目の課題が、初期の適応日本語指導をどうするかということ。初期に関しては、岩倉市ではポルトガル語が堪能な市の講師が在籍している岩倉東小学校を拠点として適応指導をし、日本の学校に慣れさせるといった活動を行っています。例えばの例として、宿泊など行きたがらずに結局休んでしまう児童生徒がいます。今後、日本で生活していくのであれば、日本の文化にも慣れていかなければならない。また、昨年度からプレスクールも始まり、送迎などの難しい点もあるが、実施した結果、効果があったと感じています。

2つ目は指導体制の構築です。一つの学校ではなく、複数校巡回する。人数がいなくてできないのでこの地区でもできるわけではないが、情報交換ができればと思います。

3つ目が、日本語指導にあたる教員や支援員の要請や確保であり、岩倉市も苦勞しています。一般的には、教科を教えたい、担任を持ちたいという思いで教員になりたいと考えている教員が多いので、日本語担当の枠があっても日本語を教える立場で確保するというのが難しい。

今後とも、日常の様子や、研修等、岩倉市と他市町で互いに情報交換ができればと思います。



## ◎ 情報交換会 14:00～16:00

### ○ Aグループ

〈1回目〉『いろいろな立場の方との情報交換』

- ・生活習慣が乱れている児童生徒に対する指導、また、翻訳文書などの保護者への働きかけについて

→語学相談員や通訳の方、外国人生活支援員等に頼っていることを危惧している。また、市の予算に限度があるため、保護者やボランティアに頼っていることに不安を感じている。

岩倉市は、翻訳文書の配布に加え、緊急時や行事等の前に保護者へメールを母語で一斉送信していることを紹介した。

〈2回目〉『小学校グループ』

- ・指導教科について

→取り出し指導は、日本語・国語・算数が多い

- ・日本語担当の教員と語学相談員や担任が連携を図るための取り組みについて

→連絡ノートや引き継ぎノートを書いて担任等にチェックしてもらう。

- ・教材の調達方法について

→特別支援学級の教材を活用したり、児童生徒の能力に合わせて作成している。

### ○ Bグループ

〈1回目〉『いろいろな立場の方との情報交換』

- ・指導する上での困り感について

→クラスとの連携がうまく出来ず、在籍学級に戻した時についていけない。

→取り出し指導より入り込み指導が多くなっている。

→数学はレベル差が激しいので指導が難しい。

→全教科のサポートをしたいが時間や人員が不足している。

- ・入り込み指導のメリットとデメリットについて

→他の児童生徒を気につけないといけない。

- 授業内容を通訳するのに時間を取ってしまう。
- 児童生徒が特別扱いされることに不満を持っている。
  - ・先行学習について
- 先行学習することで児童生徒に在籍学級での活躍の場ができる。(担任との連携)
  - ・日本語教室で工夫している点について→学年ごとにフォルダーを作成し文書をメールで送信する。問題点は、メールアドレスの登録が徹底しないこと。
- 〈2回目〉『小学校グループ』
  - ・保護者との関わり方について
- 臨機応変に対応できないし、トラブルを対応するとき言葉が通じない。
  - ・母語指導について
- 岩倉市のように母語指導まで手がまわらない。母語が不十分な児童生徒は親とのコミュニケーションがとれていない。
  - ・学習の定着について
- 漢字が定着しない。視覚教材を使ったり、繰り返し練習をさせている。

## ○ Cグループ

- 〈1回目〉『いろいろな立場の方との情報交換』
  - ・ポリピアでは、15才になれば働けるため、中3の生徒で親が教育委員会に行き、除籍にせざるをえない生徒がいた。
- 親への啓発が必要。NPOでは、入学時に約束事をしている。豊田や岩倉では、不就学調査をしている。
  - ・年齢を下げて就学されることについて
- 校長裁量(豊田)。申し出があった場合、メリットデメリットを理解してもらった上で実行。
  - ・特別支援の児童・生徒の増加について
- 保見では、外国籍65%のうち、80%が特別支援。母語でのテスト、ウィスクを実施している。第一言語が十分に育っておらず、思考能力の伸びにも影響しているのではないか？
- 〈2回目〉『高校・大学グループ』
  - ・ダブルリミテッドについて
- 家庭での母語のやりとりが乏しい。
- 在籍学級の先生とも連携し、親への啓発が必要。カナダでは、親への啓発が当たり前。
  - ・今後の日本語教育について
- 担任との協力が必要である。
- 今までは、小中の連携・中高の連携が重視されてきたが、これからは、大との連携が必要ではないか。外国人児童・生徒が増加している今、教員の意識から変える必要があるのではないか？

## ○ Dグループ

- 〈1回目〉『いろいろな立場の方との情報交換』
  - ・通知表の翻訳について
- 語学相談員が所見(取り出し指導)を翻訳して通知表に各言語で記載している。また、個人懇談会で所見を通訳している。(小牧)
- 夏休み、ふゆやすみの日誌の翻訳を各言語で対応している。(保護者用)
- 岩倉は、日本語教室で評価テストを行い、通知表とは別に評価をしている。
  - ・初期指導の時間について
- 大阪は20時間 岩倉は4週間行っている。
- 〈2回目〉『外国人支援グループ』
  - ・学校以外の外国人児童生徒の支援について
- ゆめの木…毎日学校と連携を取る 保護者とのやりとりは、語学相談員さんを通じて母語で行っている。
  - ・ガリ勉クラブ…子どもたちの居場所作りに力を入れている。

## ○ Eグループ

〈第1回〉『いろいろな立場の方との情報交換』

- ・「学校・地域・NPO」等、トータルな連携について
- 地域には日本語教室があるが、それは大人用で小中学生が通っているという話は聞いていない。岩倉市国際交流協会とは連携がとれていない（岩倉）。
- 放課後の宿題を見るNPOに所属しているが、学校との連携がとれていない。NPOではよく話す子が、学校ではおとなしくしていると聞くこともあるので、学校との連携をとりたいたと考えている。
- 放課後に宿題を見てくれるNPOが月に一回学校に来て、全員の学習の様子を書いた記録を提出してくれる。夏休みの工作にまで対応してくれて、とても助かっている（豊田）。

〈第2回〉『行政グループ』

- ・通訳の確保について
- 派遣会社の担当者が通訳に来てくれている。
- ボランティアを募るのは難しいので、NPOを探す方が良い。
- ・高校への進学について
- 高校にモデル校を作り、外国人学級を設置している。今までは外国人学級が1年生のみで、2年生以降は普通学級に入れていたが、2年生・3年生にも設置を進めていく予定である。外国人生徒のために、日本語指導をする非常勤講師2名、通訳1名を入れているが人を増やしても足りないためシステム化する必要がある（岐阜）。
- 外国人特別枠の入学試験があり、全校生徒の50%が外国人の高校も存在している。入学してからも、日本語指導をおこなっている（三重）。

## ○ Fグループ

〈1回目〉『いろいろな立場の方との情報交換』

- ・小中高の連携について。
- 三重県の学校では、小中高の連携について、各生徒への対応、学校システムとしての対応が遅れているという問題点があるが、岩倉では小中の連携が学校システムとして確立されていること、保護者や生徒への対応も出来ている点が素晴らしいと思う。
- 岐阜県では、教諭が直接高校へ赴き、学校の特色や、資格・勉強など、将来の職業につながる情報を、保護者へ伝えるようにしているとのこと。保護者の意識を高めることが大事だと考える。
- ・NPOの日本語教室との連携について。
- 校外での外国籍児童生徒の様子や、夜間でないと連絡が困難な保護者と連絡をとりやすいメリットを活かし、学校と情報交換をすることで、生徒・保護者・学校をつなげる役割を担っている。
- ・高校進学後の指導についての問題点（中高の連携について）
- 上級学校に進学したが、卒業できない生徒が少なくない。（特に定時制など）中学校での指導の抜けている部分が、高校で顕著になり、勉強など、適応していけない生徒が出てきている。一部の高校では、週に何回か日本語指導を取り入れたり、キャリアアドバイザーをおいて、外国人生徒を企業につなげる取り組みをしていたりするところもあるが、まだ対応が遅れている。

〈2回目〉『中学校グループ』

- ・小中との連携について。
- 小学校の担当者と中学に上がってくる生徒について情報交換をする、中学校を訪問するイベントを利用し、保護者への説明会を開く、中学校から小学校へ赴き、中学校についての説明会を行う、入学式の日外国籍の保護者を集めて進路や積み立て金について説明を行う等、各学校で小中についての連携、保護者への対応が出来ている。
- ・進学について。
- 進路、お金、学校システム、そのための勉強について、小学校から保護者への徹底

が大事である。

→中学2年や3年で転入してきた場合の進路を見据えた対応

→下学年への転入措置

→中学卒業後、高校がすぐには決まらなかった場合、日本語の学習支援が受けられるNPOなどがある。(虹の架け橋教室やフレビアなど)



**11月**

### ○ 国際理解 交流給食 曾野小学校

年間を通して、給食時に、外国人児童が在籍している学級で、日本人児童とも交流を深める意味を含めて、交流給食を実施している。その際に、外国人児童の母語を外国人児童とともに紹介し、国際理解の場を設定している。



**11月**

### ○ 国際交流 岩倉中学校 コスモス祭

- ① ブラジルの紹介
- ② ポルトガル語講座
- ③ ブリガデイロ作り
- ④ ミサンガ作り



(生徒の感想より)

ブリガデイロというお菓子を作ったことが心に残っています。とても甘いお菓子で、外国人がどういうものを食べているのかがわかってよかったです。

ブラジルについては、社会の授業で少し勉強した程度だったのであまり知りませんでした。しかし、今日の達人道場を通して、おいしいお菓子やミサンガ作りを体験し、ブラジルには楽しいことがたくさんあると気付きました。異国の文化を詳しく学ぶ機会はありませんでしたので、とても良い経験になりました。

ブラジルは日本の裏にあって、なかなか行くことができないので、ブラジルの伝統的なお菓子を食べたり、実際にポルトガル語を話したりして、どんなものか体験できてよかったです。

**11月**

### 研修会 『岩倉市日本語適応指導教室との関わり』

講師 小森節男先生

- 日本語適応指導教室に関わった期間
  - ・ 前岩倉東小学校 (センター校校長)  
平成17年～平成18年
  - ・ 前岩倉市教育委員会管理指導主事  
平成19年～平成20年

- 担当者の感想 (一部抜粋)

岩倉市日本語ポルトガル語適応指導教室の体制



が、一朝一夕にできたものではないことはわかっていたつもりでしたが、その根底には小森先生の純粋な「人を思う気持ち」が流れているのだと感じました。子供たちを思う気持ち、保護者を思う気持ち、指導者を思う気持ち、地域の人を思う気持ち、それら全てが今の岩倉市の取り組みを支えているのだと思います。

外国からやって来た子供たちには何の罪もなく、母国での就職難、日本の労働力の不足問題など、各国の大人が積み上げてきた問題のツケを払わされているだけで、いわば、社会の闇に巻き込まれているだけだと感じています。

日本語教師という仕事は軽視されていることが非常に多いです。しかし、小森先生は、専門機関で学んできた我々の仕事を専門性の高いものとして認めてくださるだけでなく、それに見合った報酬を保障しようとしてくださっていることに感激いたしました。そして、より一層プロ意識を持って指導にあたらうと思いました。

管理職が変われば、日本語教室や日本語指導者に対する風当たりが変わるかもしれないと危惧されていましたが、自分自身も「いつ、この環境が変わってもおかしくない状況だ」という危機感と、今の恵まれた環境に感謝することが必要だと考えています。

この環境を維持し、さらに高めていくためには、各校に在籍している担当者がそれぞれの指導を公開し、生徒の頑張りを見て頂く機会を積極的に設けていく必要性を感じました。



## 7月 12月

日本語能力試験 平成26年度 53名受験

### ◎ 平成26年度 日本語能力試験 受験結果(7月・12月)

- ・ N1 合格者－ 7名(受験者13名中)      ・ N3 合格者－15名(受験者17名中)
  - ・ N2 合格者－14名(受験者21名中)      ・ N4 合格者－ 2名(受験者 2名中)
  - ・ 7月－N1-5名(合格4名),N2-8名(合格7名),N3-8名(合格7名)
  - ・ 12月－N1-8名(合格3名),N2-13名(合格7名),N3-9名(合格8名),N4-2名(合格2名)
- ※ 53名の受験者中・・・合格38名, 不合格15名

## 2月

### ◎ 平成27年度新入児 入学オリエンテーション (一日入学時に実施)

#### ○ 目的

- ・ 保護者並びに入学予定者に小学校の様子を知ってもらい、入学準備の参考にする。
- ・ 日本の学校に入学するにあたっての心構えをもってもらう。
- ・ 保護者と教師で協力体制を作るきっかけにする。
- ・ 日本語教室について理解してもらう。

1 日時 平成27年2月3日(火) 13:30 - 15:30

会場 岩倉市立岩倉東小学校 日本語教室

2 対象 平成27年4月から岩倉市内の小学校に入学する外国人児童生徒の保護者

- 3 内容 ①日本の学校について  
②日本語・ポルトガル語適応指導教室について



## 2月

### プレスクール ～日本の学校に慣れるために～

#### 1 目的

- (1) 入学後、早く学校に適應できるよう、環境に慣れ親しむ。
- (2) 学校生活に必要な基礎的事項を体験したり、学習したりする。
- (3) 新入学児の日本語力を把握する。

#### 2 期間・日時

2月6日(金), 13日(金), 20日(金), 27日(金),  
3月6日(金) 15時30分～16時30分

#### 3 場所

岩倉市立岩倉東小学校 学校生活適應指導教室

#### 4 参加新入学児-5名

幼稚園・保育園および保護者の希望、および日本語力が十分身に付いていないと思われる新入学児

#### 5 指導者

- ・ ブラジル人講師, ボランティア

※ 日本語担当者が、必要に応じて指導を支援する。

#### 6 指導計画 (詳細は別紙)

- ・ 学校生活, 必要語彙, ひらがな, 基礎的算数の概念, 集団行動 etc

#### 7 事後

- (1) 本プレスクール期間内で到達した内容を記録し、保護者・入学予定の学校へ報告する。
- (2) 入学後の追跡調査を行い、来年度に向けて課題点を挙げる。



## 2月

### ボランティアに対する教科指導のスキルアップ講座

愛知県国際交流協会主催

- 全3回 2月7日(土) 一宮, 2月22日(日) 豊橋, 2月28日(土) 知立

#### ○ 内容

- 1 日本語・ポルトガル語適應指導教室 概要
- 2 小学校のモジュール指導例
- 3 中学校のモジュール指導例
- 4 グループ討議



## 3月

### ◎ 情報提供会 ～外国人児童生徒の将来について～

- 外国人児童生徒の定住化に伴い、中学校生活をどのように過ごしていけばいいか、上級学校進学に向けての心構えや準備などの情報発信と意見交換会を設定。

◆ 日時：平成26年3月13日(金) 15:30～16:30

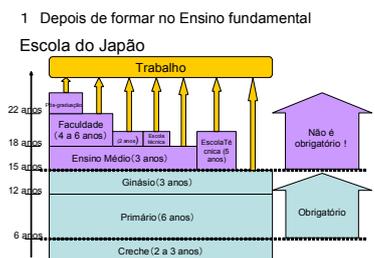
◆ 場所：南部中学校 第2音楽室 (本館3階)

◆ 対象：中学校 1年生 外国人生徒

※希望する小学6年生の外国人生徒も参加可。

外国人児童生徒の保護者で来られる人

- ◆ 内容：①中学校を卒業したら (進学と就職について)  
②進路決定までの流れ  
③質疑応答 (個別相談対応)



◎ 個人調査票 内容改定 (調査項目)

学年, 学校名, 名前, 国籍, 母語, 性別, 正式名, 生年月日, ステップ, 在留資格, 住所, 母語力, 来日時期, 健康状態, 出席状況, 宿題・準備, 家族, 親類, 父母の国籍, 会社, 保険有無・種類, 公的扶助, 保護者日本語力, 在籍までの経緯, 卒業後の希望, 学校行事参加, 学習塾・習い事, 帰宅時 家族在宅状況, 連絡先・連絡可能時間帯, 連絡できる友だち

学年	5	備考①
学校名	五条川小学校	日本国籍(約30年前に母親が日本人と結婚。離婚の...を未婚で出産。血のつながりのない元夫の名をつける。)
名前	...	
国籍	ダブル	
母語	フィリピン語	
性別	男	
正式名	...	
生年月日	2009 02 17	備考②
ステップ	1	保育園の時、1年間フィリピンで過ごした。
在留資格	永住者	
住所	岩倉市...	
母語力	全くできない	
来日時期	日本生まれ	
在籍までの経緯	日本(岩倉のみ)	
卒業後の希望	高校進学	
健康状態	健康	備考③前年度分までの必要事項を残す
出席状況	良好	Facebookを通して出会う機会
宿題・準備	親の協力のできる	をもち再会。実父はトルコ人で、解体を望む。トルコにも家庭がありその地をもつ。8ヶ月ごとに日本とトルコの行き来を繰り返す。その後義父に連れて母子とも頻りに会い、経済援助を母子とも受ける。義父は音信絶た
学習塾・習い事	なし	
家族	母子 一人っ子 義父	
親類	近隣にあり	

◎ マニュアルの改定 第8版

- 管理職向け お願い・確認事項
- 教務主任向け 確認事項
- 養護教諭向け 確認事項
- 学級担任 Q&A ハンドブック
- 岩倉市日本語適応指導教室マニュアル 担当者向け

目次		
日本語・ポルトガル語適応指導教室	概要	P1
日本語・ポルトガル語適応指導教室	理念	P3
日本語・ポルトガル語適応指導教室	特色	P3
日本語・ポルトガル語適応指導教室	連絡協議会・説明会	P3
日本語・ポルトガル語適応指導教室	原則	P4
日本語・ポルトガル語適応指導教室	提出書類及び作成文書	P4
日本語・ポルトガル語適応指導教室	就学方針	P5
日本語・ポルトガル語適応指導(集中初期指導)	提出書類	P6
日本語・ポルトガル語適応指導教室	公開指導	P7
日本語・ポルトガル語適応指導教室	ホームページ	P8
『日本語教育適応学級担当教員』とは?		P9
担当者 在籍校での校務分掌関係		P9
担当者 責任校での仕事		P10

◎ 外国人児童生徒 追跡調査(H13~H26) 作成

氏名	国籍	来日時期	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度			備考
			1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3				
ブラジル	4~6才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	4~6才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
トルコ	4~6才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	4~6才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	日本生	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	日本生	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
フィリピン	小4	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	小5	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	小5	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	小6	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	小5	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	0~3才	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	日本生	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		
ブラジル	小5	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東	東		

◎ 日本語・教科テストの改定

※ 改定に合わせて、評価方法や集計一覧表の見直しを図る。

○ 指導区分・ステップ(個々の日本語習熟度の段階)の見直し

- ステップ0(S0) -- 学校生活適応指導-集中指導
- ステップ1(S1) -- 初期 (聞く)
- ステップ2(S2) -- 初級 (話す)
- ステップ3(S3) -- 中級 (読む)
- ステップ4(S4) -- 上級 (書く)

※ ステップ2~4(S2-①~S4)- 日本語能力試験指導

小学校	小5	小6
重点的指導項目	△・○	△・○
最終的指導項目	△・○	△・○
もの名前	漢字	国語(日本語)
読み	読み	読み
書き	書き	書き
計算	計算	計算
算数	算数	算数
理科	理科	理科
社会	社会	社会
英語	英語	英語
音楽	音楽	音楽
体育	体育	体育
総合	総合	総合
外国語	外国語	外国語
道徳	道徳	道徳
生活	生活	生活
特別	特別	特別
その他	その他	その他
評価	評価	評価
指導	指導	指導
時間	時間	時間

## ◎ 指導カリキュラム (指導項目・指導内容)

教育の目的，教育内容を超えて，教授活動やそれに対する教師の構えのようなものにまで拡大して，教育にアプローチする姿勢そのものまでカリキュラムとして捉えなおす



## ◎ 日本語テキスト 指導教材

※ 評価の姿勢を含んだ類型 (入出力モデル)  
具体的に観察できる教育目標を設定しておいて，それに対応する教材，教具を開発，それを【指導＝学習】の過程で活用

### にぎる おと



※ 日本語テキスト 小・1 指導 015 026 027 (指導用) 001

002

## ◎ 日本語・教科テスト

【指導＝学習】の結果を日本語的な内容と教科的な内容に分けたテストを作成し，個々の到達度を評価する。

Evaluación de la capacidad del idioma japonés y los estudios  
日本語・教科 到達度評価 ～担任の先生へ～

○×学校 小6 学年

2013 3学期

ものごとの名前	得点	到達度
Childero	57.5	○
漢字	49.0	△
国語 (日本語)	48.6	△
日本語能力試験 (Basic level of the test)	45.4	○

日本語 評価	平均	ストップ
Evaluación de la capacidad del idioma japonés	55.4	Step2

到達度評価	得点	到達度
国語 (日本語)	59.1	○
国語 (英語)	54.0	○
国語 (英語)	58.1	○
国語 (英語)	51.2	△
国語 (英語)	57.7	△
国語 (英語)	52.3	×
国語 (英語)	49.6	△

教科 評価	平均	ストップ
Evaluación de la capacidad de los estudios	50.6	Step2

日本語・教科 評価	平均	ストップ
Evaluación de la capacidad del idioma japonés y los estudios	53.0	Step2

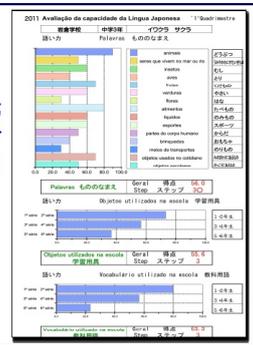
Step	到達度	到達範囲	評価
Step4	ステップ4 上級	71～90	到達
Step3	ステップ3 中級	56～70	到達
Step2	ステップ2 初級	41～55	到達
Step1	ステップ1 初級	11～40	到達
Step0	ステップ0 基礎	0～10	到達

## ◎ 個人課題

日本語・教科テストの結果より，現状の日本語・教科の到達度を把握するとともに，個人課題を明確にし，指導スタイル・教材・教具・テストの見直しを図る。

【個人別指導カリキュラム】

評価  
5言語対応版  
ポルトガル語  
スペイン語  
中国語  
英語  
日本語



## ◎ 指導ユニット・モジュール

● 岩倉日本語指導方式

年間指導ユニット 配当計画 ステップ・学年・月別

サイクル (学期ごとのステップの見直し)	指導ユニット (モジュール)			
	ステップ1 (S1)	ステップ2 (S2)	ステップ3 (S3)	ステップ4 (S4)
1学期	4月(3週) 指導ユニット1 (モジュール1)	指導ユニット2 (モジュール2)	指導ユニット3 (モジュール3)	指導ユニット4 (モジュール4)
2学期	9月(3週) 指導ユニット1 (モジュール1)	指導ユニット2 (モジュール2)	指導ユニット3 (モジュール3)	指導ユニット4 (モジュール4)
3学期	1月(3週) 指導ユニット1 (モジュール1)	指導ユニット2 (モジュール2)	指導ユニット3 (モジュール3)	指導ユニット4 (モジュール4)

1 指導ユニットの指導モジュール数配分は，日本語力のステップに応じて比率を決める。現在の日本語力レベルと現在の半年の学習内容，1指導ユニット・モジュール数配分比率は，概ね下記のようにする。

ステップ	現在の学習内容	指導ユニット・モジュール数配分例
[S1]	10	39 : 0 (39モジュールの場合)
[S2]	7	19 : 8 (27モジュールの場合)
[S3]	5	9 : 9 (18モジュールの場合)
[S4]	2	2 : 7 (9モジュールの場合)

【ステップ3】 【小3・小4】 4月・5月・9月・12月・1月～9指導ユニット(36モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容
国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容
算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容
理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容
社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容
英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容
音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容
美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容
体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容

【ステップ3】 【小3・小4】 7月・3月～6指導ユニット(24モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容
国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容
算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容
理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容
社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容
英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容
音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容
美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容
体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容

【ステップ3】 【小3・小4】 6月・10月・11月・2月～12指導ユニット(48モジュール)

指導ユニット①	指導ユニット②	指導ユニット③	指導ユニット④	指導ユニット⑤	指導ユニット⑥
日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容	日本語(ステップ)指導内容
国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容	国語(漢字)指導内容
算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容	算数(算数)指導内容
理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容	理科(理科)指導内容
社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容	社会(社会)指導内容
英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容	英語(英語)指導内容
音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容	音楽(音楽)指導内容
美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容	美術(美術)指導内容
体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容	体育(体育)指導内容

月別指導スケジュール	指導ユニット	指導ユニット	指導ユニット	指導ユニット	指導ユニット
4・5・9・12・1月	18モジュール	9モジュール	8モジュール	8モジュール	8モジュール
7月	12モジュール	6モジュール	2モジュール	2モジュール	2モジュール
6・10・11・2月	24モジュール	12モジュール	4モジュール	4モジュール	4モジュール

- 学年・教科・月・ステップ別 指導教材・画像ファイルの整理
- 日本語・教科テストの整備
  - ・ 漢字テスト，教科用語・学習用具テスト，語彙テスト，
  - ・ 国語(日本語)テスト，算数(数学)テスト，日本語能力テスト
- ◎ 教材
  - ・ 新規作成・編集，教材作成用画像の整理
- ◎ 翻訳文書 新規作成および修正
- ◎ 保護者への発信 学校から保護者の方への情報発信の充実
  - ホームページ Homepage  
<http://www.iwakura.ed.jp/nihongo/E29.htm>  
 学校行事予定をスマートフォンやタブレットからも閲覧できるように。
  - 外国人保護者向けメール
    - ・ iwakura-japaneseメールより，保護者へ学校行事や緊急メールを発信
- ◎ 通訳配置
  - ポルトガル語・スペイン語・中国語・フィリピン語通訳の配置
  - ・ 保護者会，就学時検診，1日入学，他随時
- ◎ 担当者会・研修会（詳細は，別紙－担当者会記録を参照）

※ 担当者会で話し合ったことは，在籍校の校長先生・教務主任に報告。  
 教育委員会へは，村瀬から報告。

- 担当者会の進行
  - ① 各担当者からの報告・課題（責任校・巡回校・初期指導）
  - ② 各担当者からの報告（研究内容・開発教材など）
  - ③ 共通理解を図るべき事項の検討
  - ④ 担当者会 会場校 校長先生からの御指導
- 各担当者は，それぞれの役割分担に従って，下記の内容を行う。
  - ① 教材・テスト作成
  - ② 指導法・指導内容の研究
  - ③ 児童生徒の日本語力状況確認及び指導時間割の見直し
  - ④ 翻訳文書作成

※ ブラジル人講師は，随時，話合いに参加し，翻訳文書の作成をする。

★ 個人レベルの研究も各自，自主的に進めていく。

- ・ 担当者会 毎週 火曜日実施 ・ 研修会 毎週 水曜日実施

## ◎ 問い合わせ 平成26年度分 リスト一覧

○ 犬山市立楽田小学校	「特別の教育課程」による日本語指導について
岩倉市日本語適応指導教室 日本語指導公開・情報交換会 11月5日(水) 市外参加者 40名	
○ 江南市教育委員会 指導主事 犬山市教育委員会 指導主事 三重県教育委員会高校教育課 指導主事 尾張教育事務所 指導主事 岐阜県教育委員会 学校支援課 課長補佐 尾張教育事務所 家庭教育コーディネーター 江南市立宮田小学校 教諭 安城市立二本木小学校 教諭 名古屋市立大高南小学校 教諭 半田市立横川小学校 教諭 半田市立横川小学校 教諭 春日井市立篠木小学校 日本語教育担当 小牧市立一色小学校 教諭 豊山町立新栄小学校 教諭 知立市立知立南中学校 教諭 愛知県国際交流協会 主事 愛知県国際交流協会 ソーシャルワーカー	○ NPO法人 子どもの国 理事長 結核YWCA 個人子ども日本語教室「かじクラブ」 コーディネーター2名 大阪府立春日丘高校定時制 日本語指導担当 三重県津市立南郊中学校 国際教室担当 三重県鈴鹿市立創徳中学校 教諭 岐阜県可児市今渡北小学校 多文化共生主幹 東海学院大学短期大学部 幼児教育学科 講師 岐阜聖徳学園大学 教育学部 教員 岐阜聖徳学園大学 教育学部 学生5名 毎日新聞 記者 犬山市立南部中学校 教諭 愛知教育大学 教育学部 学生 小牧市立村中小学校 教諭 NPO法人 多文化共生リソースセンター東海 事務局長 小牧市立米野小学校 教諭 美濃加茂市立東中学校 多文化共生主幹
○ 毎日新聞	母語指導の取り組みについて 取材
○ 岐阜県教育委員会	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 視察
○ 豊山町立新栄小学校	外国人児童の指導について 視察・懇談
○ トヨタ財団 名古屋国際センター	2014 多文化共生フォーラム in Nagoya発表 8月23日(土) 8月24日(日) 名古屋国際センター30周年記念事業
○ 読売新聞 中部支社	岩倉市ポルトガル語指導開始の経緯や現状について
○ 淑徳大学 准教授 名古屋国際センター	岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 視察 2014 多文化共生フォーラム in Nagoya 発表依頼
○ 香川県丸亀市国際教室	文科省 公立学校への受入れの円滑化方策について 岩倉市の方針
○ 三重県国際交流財団	研修会講師の依頼 8月5日(火) 三重県津市にて
○ 瀬戸市教育委員会	プレスクールの概要, 行政との関わり, 指導内容, 教材について
○ 江南市立宮田小学校	視察 (東小学校), 懇談 日本語指導について
○ 安城市立二本木小学校	教材作成 補助機器 (スキャナー, OCR) について
○ 兵庫県 中学校	ブラジルへの帰国書類, 手続きの方法について

## 岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室 指針

岩倉市日本語・ポルトガル語適応指導教室創設より14年目を迎えた。当初、4カ国4言語、26名で開始した岩倉市・日本語ポルトガル語適応指導教室であるが、現在、岩倉市内の小中学校には、17カ国12言語、190名程の児童生徒が在籍し、そのうち約80パーセントを日系人が占めている。

人と人とのコミュニケーションを図るための意思伝達手段として、言葉は重要である。外国人児童生徒は、日本語を母語としないため、自分の気持ちを先生や友達に伝える時の表現力が劣り、意思疎通がうまく図れない場合がある。そんな外国人児童生徒に対して、語い量を増やし、時と場に応じた言葉の使い方を指導することで、コミュニケーションが円滑に図れるようになり、日本の生活に適応することができるようになる。

また、生まれた国や言葉の違いだけでなく、生まれ育った環境により文化や生活習慣、考え方は異なる。戸惑いや不安の中、外国人児童生徒たちは、日々、ストレスを抱え、肌で文化の違いを感じている。反面、外国人児童生徒の日本語習得が進むにつれ、母語を忘れ、親と母語でのコミュニケーションをとることが困難になっていくという問題も発生している。両親ともに朝早くから夜遅くまで働いていることが多く、親と話すことができる時間が極端に少ないため、その傾向はより強くなっている。

一見、学校生活に適応し、楽しく過ごしているように感じる外国人児童生徒でも、学校でしか使わない学習用具の名前や教科書に出てくる言葉など聞き慣れない言葉が理解できずに戸惑うことが多い。このように、日本の学校生活に適応できない、教科学習が理解できない、家庭では、保護者の日本語力が低いため、支援を得ることができず、生涯、ハンディキャップを背負っていくことになる。

さらに、中学校を卒業した後の進学・就職の問題など、外国人児童生徒は多くの問題を抱えている。学校で認められ、誉められ、日本語を覚え、日本での思い出を作れば良いという時代ではなくなった。彼らの学びを保障し、彼らの将来への礎と日本の将来を担う一員として教育していかなければならない。このような外国人児童生徒を取り巻く環境を考慮し、将来の夢や目標をもって日本で生活していけるよう、日本の学校や日常生活に適応できるように指導していく必要がある。

そこで、常日ごろから、指導をしていく中で児童生徒に言い続けていることがある。

ここでの学習は、定住するにしろ、母国に帰るにしろ、必ず自分の力となり、その力は自分の夢の実現に近づける手助けとなるものであるということである。

日本に来たばかりで、言葉もわからず、自分の気持ちを表現することができない状態で生活していくことは、とても苦痛を感じる。その中で、前向きに日本語を学ぼうとする姿勢は、周りの日本人の児童生徒にもプラスの影響を与えるものであると思う。そのような外国人児童生徒たちの努力は、尊敬に値するものである。

また、日本人の児童生徒にとっても、様々な国の子どもたちと生活していくことは、国際理解の第一歩であり、他者への思いやりの心を持ち、人の立場でものを考えられるようになることにつながるのである。国際理解とは、自己を知り、他を認めることである。自分の国、地域の自然や社会、学級や家庭を自分自身とのかかわりの中で、学び、知り、理解すること。また、他の地域や国に住む人々について知り、文化、習慣、風俗の違いを互いに認めあうこと。すなわち、相手の立場が理解できるということである。外国人児童生徒が、日本の文化・習慣に慣れることは、もちろん大切なことであるが、できる範囲でこちらからも相手の国の文化・習慣を理解し、お互いに歩み寄ることも必要であると思う。日本人児童生徒と同様に外国人児童生徒も、認められ、誉められることで、自己の存在感を感じることができるのである。そこで、『心の居場所』づくりをするとともに『授業で活躍できる学力』を付けることが大切であり、縁あって、出会った外国人児童生徒が、日本にいてよかったと感じるような指導を心掛けている。